

すこやかちゃん



いぶき 芽咲ちゃん(平成17年1月4日生)
両親＝向後武彦・英代さん〔鎌数〕
「王子様は大好きなパパよ」



しゅうすけ 崇介ちゃん(平成18年5月25日生)
両親＝久保田明・久実乃さん〔琴田〕
「車が大好きなしゅうちゃん。
お返事も上手にできるんだよ。」



りこ 璃子ちゃん(平成19年10月28日生)
両親＝増田雅之・順子さん〔鍋木〕
「パパのだっこが大好き♡
今日もお散歩に連れて行って!!」

すこやかちゃんを募集しています

掲載ご希望の方は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、保健センター、海上保健センター、飯岡保健センター、干潟保健センター、秘書広報課にあります。



紙上展示室 ―旭モノ語り― 第三十四回

せんげんさまの祭礼

浅間神社、通称せんげんさまは、富士山を奉る神社として各地に分布しています。その数約一五〇〇社、富士山信仰の大ブームもあり、山を直接のぞむ地域や、似た景観の土地に多く勧請(かんじう)されました。旭市にも祠(ほら)がたくさんみられます。もともとの「あさま」は神の宿る霊山をさしたものでしたが、その代表として富士山ふじさんせんげんさまとして定着したといわれています。

江戸後期には山開きである六月一日に、富士山に直接お詣りできない人々が、地元の浅間神社に参詣していました。その日は今も例祭日として、残っています。

さて市内の飯岡駅のほど近く、高い丘の上にも、せんげんさまが祀(まつ)られています。ここ広原区でも毎年六月一日に合わせて祭礼が行われます。早朝六時、幼児から小学校低学年位までの子供が親に伴われ、裸足で参拝するものです。せんげんさまは故事になみ安産子育ての霊験が高い神様です。この子供のお参りは「初山」(はつやま)ともいわれ、必ず一度は参拝するようにといわれています。



かつては、身を清めて夜明けから参詣を行っていたせんげんさまもあつたといえます。裸足で行われるのは、霊山に対する信仰の名残りなのかもしれません。

そして、広原のせんげんさまのすぐ隣は保育所という立地。今度が初山という子供もいるでしょう。遠く山の神様のご利益をたくさん受け、元氣いっぱいいに過(あ)せること間違いなしです。この地区では、子供の健全やかな成長を祈る、地域の大切な行事として定着しています。

〔大原幽学記念館 猪野映里子〕

暮らしのカレンダー

- 3日(土) 憲法記念日
- 4日(日) みどりの日
- 5日(月) こどもの日
- 11日(日) 母の日
- 25日(日) 春のゴミゼロ運動(午前8時～)
旭市いいおか港・水産まつり2008
(午前10時～ 飯岡漁港およびその周辺)

編集後記

4月に異動になり、一から広報の編集に携わったのは、今回が初めてでした。そんな中、編集後記を任せられました。編集後記は今まで秘かに楽しみにしていたコーナーでした。読むものだとばかり思っていたのに、まさか自分がこのコーナーを書くことになるとは：新しい仕事は初めてのことは：かりで戸惑うことも多いですが、初心にかえり精一杯がんばります。そして、みなさんの目となり、耳となり、喜んで読んでもらえる、そんな広報をつくりたいと思っています。
(A)